

年 組 名前：

防火願った風船 千葉の消防署に

韮崎の園児飛ばし、160キロ飛行

韮崎市本町1丁目のすみれ韮崎保育園の園児が火災予防を願って飛ばした風船が、約160キロ離れた千葉市の緑消防署に届いた。風船には園児が「火遊びしません」と書いた短冊がつけられていて、風船を拾った副署長の油井厚久さん(58)は「山梨から千葉まで飛ばなんて奇跡のようだと感動。油井さんは風船を保育園に戻すとともに消防車両のシールや鉛筆などを届け、短冊にメッセージを書いた園児は「拾ってもらえてうれしい」と笑顔を見せた。(飯野柀平)



全国火災予防運動(9月15日)の一環で、9日に年長の園児16人が風船を飛ばした。それぞれの風船には、短冊がついており、園児による火災予防の願いを込めたメッセージが書かれていた。緑消防署によると、油井さんが10日朝、署の周辺で日課のシヨキングをしていると、

歩道の上に落ちていた風船を見つけた。風船には「火遊びしません」と書かれた短冊もついていた。

油井さんは「まさか山梨から飛んできた火災予防運動の風船を拾うとは」と驚いた様子。署は風船を「奇跡の風船」としてすみれ韮崎保育園に返却し、ポンプ車やレスキュー車のシールや鉛筆などを幼児向けの防災啓発グッズも合わせて贈った。短冊にメッセージを書いた山田帆乃果ちゃん(6)は遠くまで飛んでびっくりした。拾ってもらえてうれしい」と顔をほころばせた。

保育園の深沢由紀子園長は「火災予防運動を通じて子どもたちの思いが千葉まで届いたのは奇跡のよう」と話した。保育園は現在、風船を返してもらったお礼として、園児が書いた手紙を消防署へ出すことを検討している。

(2022年11月25日付 山梨日日新聞 24面)

問1

すみれ^{にらきほ}韮崎^{いけん}保育園の園児は、何を願って風船を飛ばしましたか。

.....

問2

次の文章の①から⑧に当てはまる言葉や数字を、答えてください。

『風船は、山梨から約①キロ離れた②市の③に届いた。風船には園児が「④」と書いた⑤がついていた。緑消防署は、風船を「⑥の風船」として、シールや防災⑦グッズとともに保育園に返却した』

- ①.....
- ②.....
- ③.....
- ④.....
- ⑤.....
- ⑥.....
- ⑦.....
- ⑧.....